

クラス NO	501	担当教員	上田 和宏
テーマ	株取引の（仮想）体験を通して企業やマクロ経済の動きを理解する		
著書・論文	最近、貧困の計測に関する研究を主に行っています。 [論文] "Measuring chronic and transient components of poverty : A Bayesian approach", Empirical Economics, vol 33, 2007. (共著)		
研究課題等	「貧困尺度の理論的基礎について」 日本福祉大学経済論集 第 31 号 2005 年 (共著)		

ゼミ概要

最初に一言。株でひともうけする術を知りたいという期待には沿えません。

① 2年ゼミの目標

企業についていろいろな角度から分析できるようになることが目標です。私たちは企業の名前を知っていても中身についてあまり知りません。ゼミではそれを知るにはどうすればよいかを株取引の学習を通して考えます。株取引は実際に行うのではなく、インターネット上で仮想体験します。企業を見る目を養うことは就職活動に活用できるかもしれません。

② 株取引の体験

毎年、『日経ストックリーグ』（日本経済新聞社主催）という株取引に関するコンテストに参加しています。参加チームが一定予算でどんな企業にどれだけ投資するかを考え、その過程をレポートとしてまとめます。それをコンテストに出します。参加者はある証券会社の Web サイトでバーチャル株取引を体験できます。仮想とはいえ現実にある企業に投資をしながら、企業について分析するわけですから、現実感をもって経済を見ることができると思います。

③ 何を勉強するのか

企業のすべてを理解することはできそうもありません。そこで株取引に関わる指標、企業の経営状況や経済全体の動きをとらえるための基礎知識を勉強します。またインターネットや EXCEL などを使う力も必要に応じて学習します。さらに株取引にはリスク（危険）があります。このリスクというものについて勉強します。

④ 専門演習 I、II、III の流れ

2年生前半では株に関するテキスト学習、後半ではストックリーグに参加して企業分析を学習します。3年生では、2、3名のチームで自分たちが選んだテーマについて研究発表します。4年生では卒業論文を完成させます。

⑤ ゼミで重視すること

学習内容以外に、人前で話すこと、文章を書くこと、わからないことはすぐに調べること、チームで作業することを重視します。

⑥ その他、ゼミ運営について

- テキストを読み、内容について毎週 Power Point を用いて報告します。
- 文章を書く練習をします。年間に何回かレポートを書いてもらいます。添削して返却するので書き直しをして再提出してもらいます。
- 就職に必要な筆記試験（SPI）対策勉強をします。
- 1泊2日の合宿を（多分、9月に京都で）行います。研究発表やゲスト（企業で働いている人）との懇談、コンパを行います。
- テキスト以外に以下の本を参考文献として使うことを考えています。
 - ・奥村宏、『株のからくり』、平凡社新書、2006年、760円（税別）
 - ・小宮一慶、『「1秒！」で財務諸表を読む方法』、東洋経済新報社、2008年、1500円（税別）

⑦ 履修上の注意

<歓迎しない人>

アルバイトやサークル活動は重要です。しかし、学生である限り講義やゼミの方が優先です。そうした理由で簡単に講義やゼミを欠席する人は歓迎しません。理由によってはケース・バイ・ケースの対応はとります。

<歓迎する人>

以下のいくつか該当する人。

- 時間とカネを、自分を磨（みが）くために使おうという人。
- デバ地下で行列を見つけたらとりあえず並んでみる人。
- 本にカネを使ってよいと思う人。
- 世間の出来事に興味がある人、他人と話すのが好きな人。
- 一つのことに5分以上考え続けられる人。
- 国内外のいろいろな所へ旅行しようと考えている人。
- 京都観光をしたい人。
- 学習成果を学内外で発表したいと思う人。
- 海外研修、インターンシップに参加したいと考えている人。
- 何か資格に挑戦して自分の力を高めたいと思っている人。

使用テキスト

東京大学 Agents、『東大生が書いたやさしい株の教科書』、インデックス・コミュニケーションズ、2004年。（1575円）

担当教員からのメッセージ

納得して入ってほしいので事前相談（できればゼミ見学も）してください（水曜3、4限1241教室）。メールをくれれば面談時間を調整します。エントリーシートにはア～コで当てはまるものやあなたのことがわかる情報を沢山書いてください。